

あ行

◆アウトカム指標

設定した目標に達することができたか等を示す指標。成果指標ともいう。

◆アウトプット指標

計画した保健事業を実施したか等を示す指標。

◆HDL コレステロール

余分なコレステロールを回収して動脈硬化を抑える、善玉コレステロール。

◆LDL コレステロール

肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる、悪玉コレステロール。

か行

◆国保データベース（KDB）システム

国保中央会が「特定健診・特定保健指導」、「医療」、「介護保険」などに係る情報を利活用して保険者向けに統計情報等を提供し、保険者の効率的・効果的な保健事業の実施をサポートするために開発されたシステム。

さ行

◆ジェネリック医薬品（後発医薬品）

新薬（先発医薬品）の特許が切れた後に販売される、新薬と同じ有効成分を同量含み、基本的に同じ効能・効果を持つ薬品。

新薬（先発医薬品）に対して「後発医薬品」とも呼ばれている。患者さんにとっては、先発医薬品と同等の薬を使いながら、薬代にかかる自己負担額を軽減できるメリットがあり、医療費保険財源の節減につながる。

◆脂質異常症

中性脂肪やコレステロールなどの脂質代謝に異常をきたし、血液中の値が正常域をはずれた状態をいう。動脈硬化の主要な危険因子であり、放置すれば脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化性疾患をまねく原因となる。

◆若年層

統計においては、15歳から24歳または15歳から34歳程度とされることが多いが、この計画の特定健診受診においては、54歳までを指すこととする。

◆新生物

正常な組織細胞は、必要以上に分化分裂を行わないように調節を受けているが、そこからはずれ自立的に増殖を始めるようになった組織。良性のものと悪性のものに分けられる。

◆生活習慣病

食習慣・運動習慣・休養・喫煙・飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群のこと。この計画においては、国保データベース（KDB）システムからデータを抽出しているため、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症、脂肪肝、動脈硬化症、脳出血、脳梗塞、狭心症、心筋梗塞、がん、筋・骨格、精神の疾患をいう。

た行

◆地域包括ケア

高齢者やその家族が安心して暮らすことができるよう、在宅での自立した生活の支援や介護者家族の支援などの福祉サービスを提供し、医療・介護・福祉の関係者の連携により、地域ケア体制の充実を図る。

◆特定健康診査（特定健診）

平成20年度から保険者が行う、糖尿病などの生活習慣病に関する健康診査のこと。年1回、40歳以上75歳未満の方を対象に、腹囲測定や血圧・血糖・脂質・尿検査・肝機能検査といった基本的な検査と、喫煙歴などの生活習慣について問診を行う。

◆特定保健指導

特定健診の結果から、健康の保持に努める必要がある方に対して行う保健指導のこと。

メタボに着目し、その要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行うことにより、生活習慣病を予防することを目的に実施される。

「積極的支援」、「動機付け支援」に区分された人を対象に保健指導を行う。

積極的支援	メタボリスクが重なりだした段階の人への支援
動機付け支援	メタボリスクが現れ始めた段階の人への支援

は行

◆被保険者

国民健康保険に加入している者のこと。

◆平均自立期間

この計画においては、国保データベース（KDB）システムからデータを抽出して

いるため、介護受給者台帳における「要介護2以上」を「不健康」と定義し、平均余命（下記に記載）から不健康期間を除いたものを「日常生活動作が自立している期間の平均」である健康寿命として算出し、「平均自立期間」と呼称する。

◆平均余命

この計画においては、国保データベース（KDB）システムからデータを抽出しているため、平均自立期間の比較対象の値として、0歳時点からその後何年生きられるかという期待値のこととする。

◆バイズ推定値

年齢分布と人口規模を調整し、人口構成の異なる市町村間での比較を可能とする指標。全国の平均を100としている。

◆HbA1c（ヘモグロビンエー・ワン・シー）

糖化ヘモグロビンがどのくらいの割合で存在しているかをパーセント（%）で表したもの。HbA1cは1～2か月前の血糖値を反映するので、当日の食事や運動など短期間の血糖値の影響を受けない。

◆保険者

市町村国保においては、都道府県及び市町村（特別区を含む）のこと。

ま行

◆メタボリックシンドローム（メタボ）

内臓脂肪型肥満を共通の要因として、高血糖、脂質異常、高血圧のいずれか2つ以上を合わせもった状態にあること。その予備群とは、高血糖、脂質異常、高血圧のいずれか1つの要因をもっている状態のこと。

や行

◆要介護認定

寝たきりや認知症などにより常時介護を要する状態（要介護状態）になった場合や、家事や身支度などの日常生活に支援が必要であり、特に介護予防サービスが効果的な状態（要支援状態）になった場合、介護保険制度による介護サービスを受けることができる。

ら行

◆レセプト

患者が受けた診療について、医療機関が保険者へ保険診療分を請求する診療報酬明細書のこと。



第3期東浦町国民健康保険データヘルス計画

2024年（令和6年）3月

発行 東浦町

編集 東浦町 健康福祉部 保険医療課 健康課

